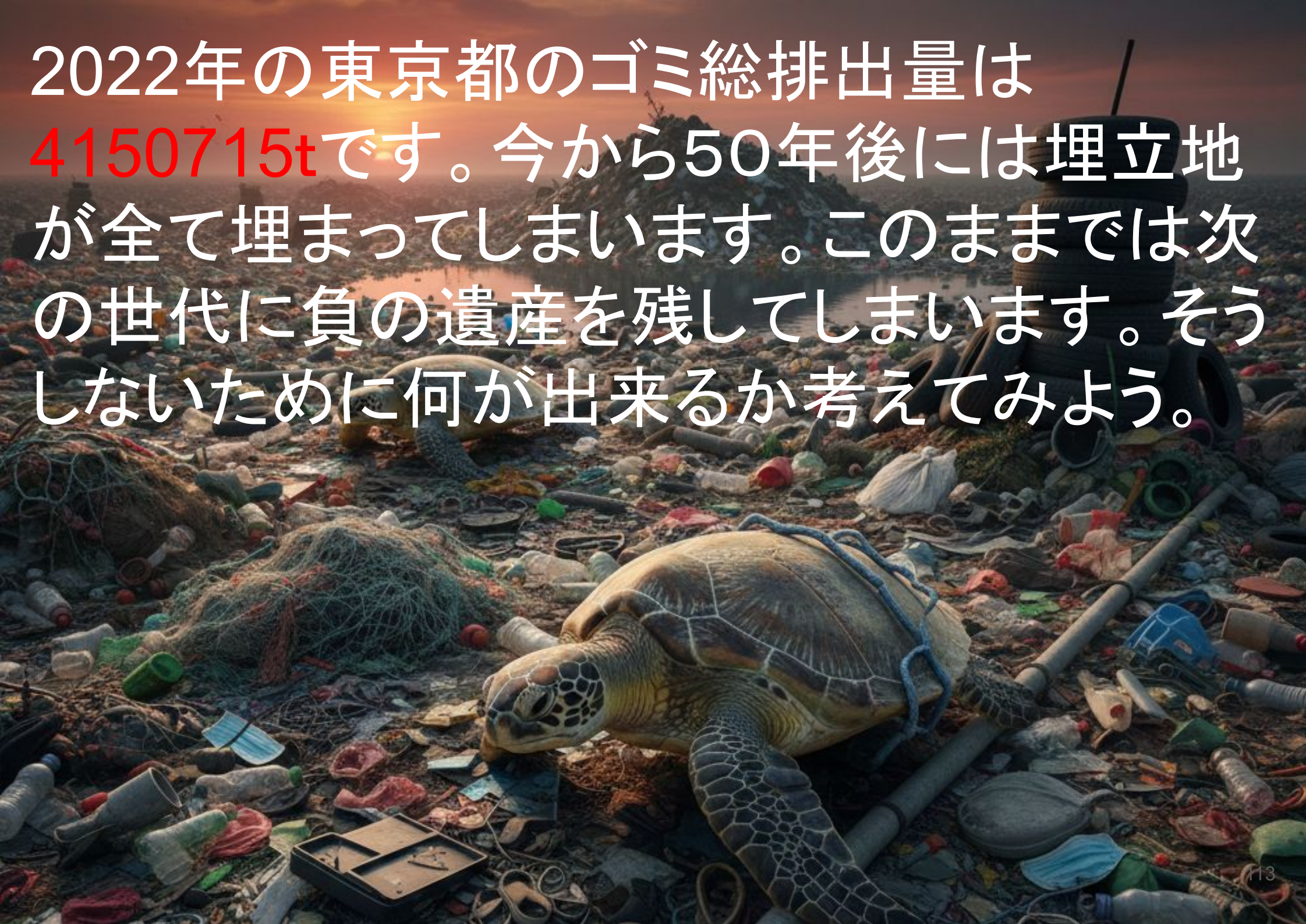


2022年の東京都のゴミ総排出量は
4150715tです。今から50年後には埋立地
が全て埋まってしまいます。このままでは次
の世代に負の遺産を残してしまいます。そう
しないために何が出来るか考えてみよう。





僕は、環境問題やゴミの問題について周りの大人の人に聞いてみました。

僕

川や 海の魚や 生き物の命を考えて、水が汚れない自然に還る食器洗い 石鹼や、洗濯石鹼、シャンプーやリンスも自然に帰る 優しいものを使っています。

ご飯はなるべく有機野菜や オーガニックの調味料を選んでいきます。食材を選ぶことは、農家さんを守ることにつながるし、結局は自然や動物、将来の子供達の環境を守ることにつながるよ。ゴミのリサイクルでコンポストも取り入れる予定なのよ。



お母さん



お父さん

僕はあまり 環境問題に興味がなかったけど、ママに言われて、お皿を洗う時には自然に還り、魚や生き物が苦しめない石鹼を使っているよ。ゴミの分別は僕の仕事。しっかりと分けて、環境に負担がないように、考えているよ。

福島県喜多方市で稲作をやっています。
田んぼでは農薬をなるべく使わないように
しています。稲刈りの後、田んぼに稲わらをす
き込んで空気を入れ、冬季寒水すると 微生
物が増えて美味しいお米になります。放射能
を減らす為に珪素をいっぱい入れています。
だからうちの田んぼは放射能の値が驚くほど
低くびっくりされています。まず身近なとこ
ろから 環境に負担をかけないことが 将来の
自然を守ることになります。リサイクルとは
そういうことだと考えていますよ。

おじいちゃん



おばあちゃん



生ゴミにぬかを入れたり 塩を入れたりして土を混ぜて自然の堆肥を作って畑に混ぜ込んでいるのよ。お野菜なんか病気にもならないで元気に育って、とても良い作物が出来るのよ。土にミミズも増えて、ふかふかのよい土になるのよ。

洗濯洗剤やシャンプー、食器洗い洗剤なども界面活性剤の入った合成洗剤は使わずに自然に還るものを使い続けています。将来の子供たちのことを考えて、なるべく自然や生き物が豊かで安心して暮らせる世の中になったらいいなと思っています。



今回 身近な大人の人たちの話を聞いて、リサイクルとは 今までなんとなく考えていたイメージとは大きく違いました。リサイクルとは、プラスチックを再利用したり、汚された川の水や空気をきれいにするために大変な事をしないといけないと思っていました。でも水や空気をなるべく汚さない生活をしたり、プラスチックの製品ではなく長く使えるものを買ったり、自分の生活の中でできることをしていくことが本当の意味での環境を考えた生き方なんだと分かりました。そして環境を考えた生活を世の中の人々がみんなであればゴミは増えないんじゃないかと思いました。この世界が綺麗になって動物や生き物も美しい自然の中で生活していける世界になったらいいなと思いました。

最後まで見ていただき
ありがとうございます。

